

■18番目の目標に向けた身近な取組例（原文）

申込受付日	申込者	取組例件数	目標の名称	目標に向けた身近な取組例（原文）
6月20日	河崎小学校 6年生	25	■文化と伝統を未来へ ■文化と伝統をこれから	【自然文化の守り方】 ・手入れや世話をする（竹林、金山、トキなど）。
				【有形文化の守り方】 ・手入れをする(仏舎利塔など)。
				【有形文化の守り方】 ・宣伝する（動画、ちらし、ポスター、CM）。
				【無形文化の守り方】 ・教える（鬼太鼓、樽囃子など）。
			■世界中に文化の大切さを	【無形文化の守り方】 ・後継者をつくる。
				【これらすべてに当てはまること】 ・その場所で開催されるようなイベントを開く（どっとこむのようなイベントを増やしたり、いろいろなところでイベントを開いたりする）。
				・今、佐渡に残っている文化は絶対に残す（守るべき文化ばかりだから）。
				・文化を知る→他の人に教える→その人が違う人に教える　そうやって広める。
			■昔からの伝統文化をこれから	・島外の学校の友達と交流してみてもお互いの文化を伝え合う。オンラインで交流するのもあり。
				・文化のイベントに進んで参加したり、自分も開催したりする。
				・鬼太鼓や佐渡おけさ、ししまい、さきおりなどの体験教室を開く。
				・佐渡の人にも、島外の人にも、1人でも多くの人に佐渡のことや文化を伝える。
			■文化を守り、次の世代へ	・自分たちも文化を体験する。
				・地域の伝統を受け継ぐ。
				・宣伝する（ポスター）。
				・体験教室を開く。
7月5日	畑野小学校 4年生	14	■トキによりよいかんきょうを	・若者に受け継がせる。
				・佐渡以外の場所で鬼太鼓などを見せる。
				・鬼太鼓などの伝統文化の動画を撮る。多くの人に動画を見てもらう場を設ける。
			■りく、海の中の「ぼいっ」すてをやめよう	・文化が長く続くために、子どもたちに伝え続ける。
				・まず自分たちが積極的に文化に興味をもつ。
				・歴史的建物を綺麗な状態で守る。
			■ポイすてをやめよう！	・佐渡おけさを県外の人にも広める（そのために、ほとんどの佐渡の人が踊れるようになって、文化が日常的になるといい）。
				・学校でも文化にふれたり、文化についての学習をしたりする。
			■しぜんを守ろう	・いろいろな地域の人との文化交流を通して、自分の住んでいる地域の文化の魅力を発信していく。
				・トキのぼきんをする。
			■さどのみりよくをのこす！！	・トキのポスターをつくる。
				・見つけたらひろう。
			■さをせかいにはっしんし、しってもら	・自然を大切にし、生き物にやさしくする。
				・ゴミをすてないようによびかける。
			■ポイすてを（なし）	・ポスターを作る。
				・外來生物のくじょ
			■さどのみりよくをのこす！！	・むのうもでつくる（できるだけへらす）
				・さどのみどりとおおをいつまでものこす。
			■さをせかいにはっしんし、しってもら	・さどのでんとうをつなぐ。
				・ブラゴミなどをひろう。
			■さをせかいにはっしんし、しってもら	・でんとうけいのうをつたえる。（いろいろな人に見てもらおう）
				・さどきんざんをせかいいさんにする。